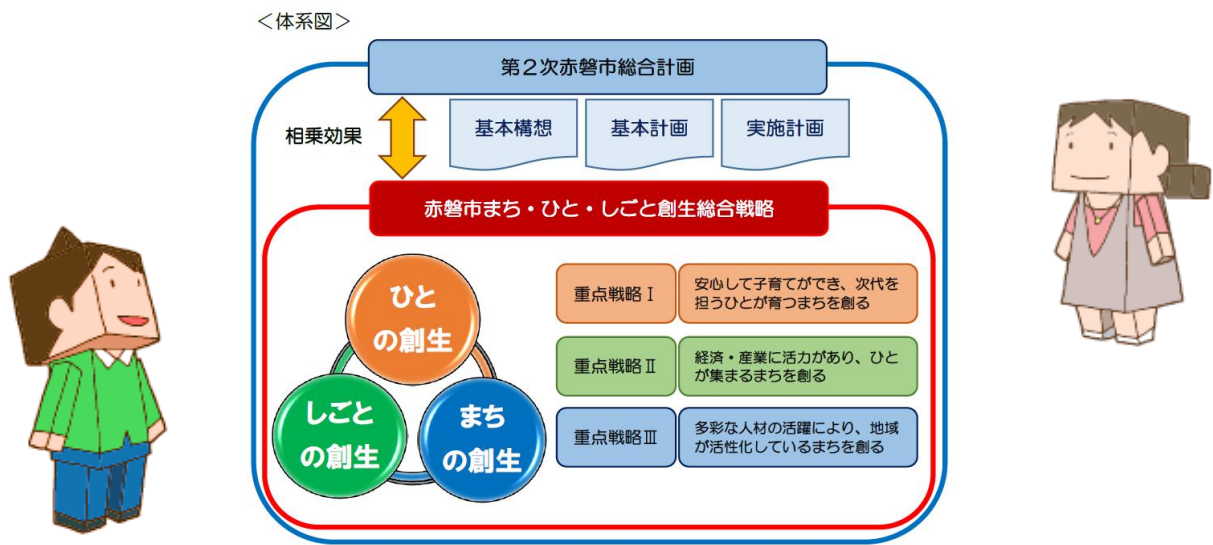


「赤磐市まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「第2次赤磐市総合計画」に係る重点戦略/戦略プログラム関係事業の平成28年度実績評価について

赤磐市の最上位計画である「第2次赤磐市総合計画」は、人口減少・少子高齢社会の到来を前提とした中で赤磐市がさらに発展していくために、人と人、人と地域の絆が大切にされ、市民、地域、事業者、行政がともに支えあい、協働によりまちづくりを進めていくことが必要であることから、各主体が具体的に果たすべきことを共有できる指針として平成27年度に策定しました。

一方、「赤磐市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、「第2次赤磐市総合計画」の方針を踏まえ、人口減少問題に対応し、持続的な発展に向けて取り組むため、同総合計画を重点化し、「まち」、「ひと」、「しごと」の創生に向けた対策を示したものです。



「赤磐市まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「第2次赤磐市総合計画」に係る重点戦略/戦略プログラム関係事業の平成28年度実績について効果検証を行いました。

なお、「赤磐市まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「第2次赤磐市総合計画」に係る重点戦略/戦略プログラムの全体総合評価は、どちらも「B」でした。

<重点戦略-戦略プログラムの総合評価について>

総合評価	
A	戦略プログラムの進捗状況は、非常に良好であり、事業効果も現れている。
B	戦略プログラムの進捗状況は、良好であり、事業効果も現れつつある。
C	戦略プログラムの進捗状況は、概ね良好であるものの、事業効果が現れるまで時間を要する。
D	戦略プログラムの進捗状況は、良好でなく、事業効果も現れていないものがある。
E	戦略プログラムの進捗状況は、遅れており、事業効果も現れていないため、事業の見直しが必要である。




# 赤磐市まち・ひと・しごと創生総合戦略

重点戦略	I 安心して子育てができ、次代を担うひとが育つまちを創る
------	------------------------------

**1. 安心して家庭を築ける環境創出プログラム**


安定的で良質な雇用の確保により、若者が経済的に安定し、安心して家庭を築くことのできる環境を創出します。

	<p>《平成28年度の主な成果》  <b>「あかいわに帰ろうプロジェクト事業」</b>                  ⇒ 結婚する(した)若者が安心して市内に居住できるよう、アパート等の賃貸住宅を契約した新婚世帯に家賃の助成制度を実施しました。  <b>「多様な働き方の提案事業」</b>                  ⇒ 子育て世代などに「クラウドソーシング」という時間と場所に縛られない多様な働き方を紹介する「認知セミナー」、実際にクラウドワーカーを体験してみる「体験講座」、クラウドワーカーとしてのスキルを学べる「ステップアップ講座」を開催しました。</p>
総合評価	
B	<p>《平成29年度の主な取組》  <b>「あかいわに帰ろうプロジェクト事業」</b>                  ⇒ 「結婚の意欲はあるけれど出会いの機会が少ない」、「婚活を始めるきっかけがない」といった現状に対し、独身男女の出会いのきっかけ作りと、移住・定住の推進を目的として、婚活イベント(スキルアップセミナーなど)を開催します。</p>



**2. 安心して出産・子育てができる環境創出プログラム**


『“赤磐市の未来を担う宝”である地域の子どもは、地域で守り育てる』という共通認識を持って、出産・子育てにやさしい地域ぐるみの子育て支援を行います。

	<p>《平成28年度の主な成果》  <b>「子ども医療費給付事業」</b>                  ⇒ 子育てに係る経済的負担の軽減と子どもの健康維持を目的として、保険診療に係る総医療費のうち、保護者の自己負担分を中学3年生まで医療費無料(自己負担なし)を助成しました。また、高校生等の医療費を1割自己負担まで拡充しました。</p>
総合評価	
B	<p>《平成29年度の主な取組》  <b>「子ども・子育て等相談窓口開設」</b>                  ⇒ 子育て・障がいに対する相談を一体的に行う「子ども・障がい者相談支援センター」を開設します。  <b>「認定こども園開設」</b>                  ⇒ 公立保育園再編にあたり、赤坂ひまわりこども園(保育所型認定こども園)を開設します。</p>


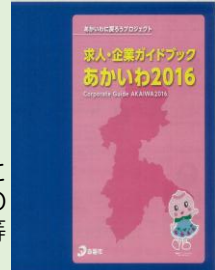



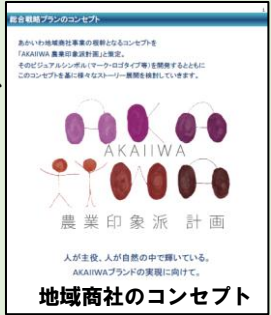


**3. 子どもが健やかに育つ教育環境創出プログラム**

子どもが豊かな心とたくましく生きる力を健やかに育て、未来に向かって限りない可能性を切り開いていける教育環境を整えます。

	<p>《平成28年度の主な成果》  <b>「赤磐市学力向上アクションプラン事業」</b>                  ⇒ 学習支援員や大学生ボランティアの配置により、児童・生徒に寄り添った個々の支援を行っています。また、中学校区では、学校間の連携が進み、落ちついた環境のもと、児童生徒の学習に対する意識が高まっています。  <b>「産官学連携協力事業」</b>                  ⇒ 岡山大学の開発した学習ドリルは5校、ベネッセコーポレーションのタブレット教材は、10校で導入し、継続した取組により、基礎基本の定着が図られ、全国学力・学習状況調査の全国平均との平均正答率の差が縮まってきており、顕著な効果が現れています。</p>
総合評価	
A	<p>《平成29年度の主な取組》  <b>「外国語指導助手配置事業」</b>                  ⇒ 外国語活動、英語教育及び国際理解教育の充実と英語力の向上を図り、広い視野と国際感覚を持った児童生徒を育成するため、外国語指導助手を市立各小・中学校への配置について、平成29年度は、1名増員し6名配置を行います。今後も小学校での教科化に向けた活用の拡大を行っていきます。</p>

# 赤磐市まち・ひと・しごと創生総合戦略

重点戦略		Ⅱ 経済・産業に活力があり、ひとが集まるまちを創る
<p>1. 企業誘致による安定的で良質な雇用創出プログラム</p> <p>幅広い支援による地域の商・工・観光産業の活性化や、広域交通の利便性等を活かした企業立地の促進を図り、地域に安定的で良質な雇用を確保します。</p>		
	<p>《平成28年度の主な成果》</p> <p>「工業団地造成事業」</p> <p>⇒ 安定的で良質な雇用の創出を図るため、熊山工業団地に隣接する小瀬木地区に企業用地を確保し、造成にかかる用地測量、実施設計を行いました。</p> <p>「人材確保支援、U・I・Jターン、地域の若者の定着推進事業」</p> <p>⇒ 都市部への人口流出の防止、U・I・Jターンを促進するため、関係機関と顔の見える関係を構築して求職者の情報把握に努めるとともに、企業やハローワーク等と連携し、県内高等学校、県内外の専門学校・大学、市役所等で就職説明会、職場見学バスツアー等の開催や求人・企業ガイドブックを作成しました。</p>	
	<p>総合評価</p> <p>B</p>	<p>《平成29年度の主な取組》</p> <p>「人材確保支援、U・I・Jターン、地域の若者の定着推進事業」</p> <p>⇒ 県内高等学校、県内外の専門学校・大学、市役所等で就職説明会、職場見学バスツアー等の開催やあかいわ創業塾の開催等を行います。</p>
<p>2. 商工業・観光振興による賑わいと活力創出プログラム</p> <p>若者世代の転出を食い止め、また新たな転入を図り、定住人口と交流人口の増加による賑わいと活気があるまちを創出します。</p>		
	<p>《平成28年度の主な成果》</p> <p>「シティプロモーション推進事業」</p> <p>⇒ マスコットキャラクター「あかいわモモちゃん」を活用したPR活動やイベントで市の特産品等のPRを行うとともに、赤磐市を舞台にした映画「種まく旅人～夢のつぎ木～」を活用し、赤磐市の魅力の発信と知名度の向上を図りました。</p> <p>「観光資源整備等事業（吉井川流域に点在する観光資源の広域連携事業）」</p> <p>⇒ 赤磐市への観光客を増やすため、瀬戸内市、和気町等と広域連携による協議の場を設け、観光資源の洗い出し、セールスポイントの整理、アピール方法の検討を進めました。</p>	
	<p>総合評価</p> <p>B</p>	<p>《平成29年度の主な取組》</p> <p>「シティプロモーション推進事業」</p> <p>⇒ 市の特産品、「あかいわモモちゃん」、映画「種まく旅人」等を活用した映画まつりの開催等により、赤磐市の魅力の発信と認知度の向上を図ります。</p> <p>「赤磐市の産業を支援し、振興を図っていく機関の創設」</p> <p>⇒ 商工会、県産業振興財団等の関係機関と連携し、市の産業振興を支援する機関を創設します。</p>
<p>3. 強い農業の確立プログラム</p> <p>経営感覚を持った農業経営者の確保・育成や農産物の地域ブランド化等に取り組み、『農業』を『若い世代の安定した雇用を創出するしごと』に育成します。</p>		
	<p>《平成28年度の主な成果》</p> <p>「農産物の販路拡大事業」</p> <p>⇒ 農産物の販路拡大のため、「オールあかいわ宣伝隊」として都市圏（大阪、東京）に販売ブースを出展し、赤磐市産の白桃やブドウ、加工品のPRを行いました。</p> <p>「あかいわ地域商社による雇用と賑わいの創出プロジェクト事業」</p> <p>⇒ 個々の生産者に代わり、新たな市場づくりの司令塔として、マーケティングを行い、販路を切り開いていく民間事業者を市が支援・連携し、地域商社の設立を行いました。</p>	
	<p>総合評価</p> <p>B</p>	<p>《平成29年度の主な取組》</p> <p>「あかいわ地域商社による雇用と賑わいの創出プロジェクト事業」</p> <p>⇒ 海外への販路拡大を進めていくため、岡山大学と連携し、白桃、ブドウの輸送試験を行っていきます。</p>

# 赤磐市まち・ひと・しごと創生総合戦略

重点戦略

Ⅲ 多彩な人材の活躍により、地域が活性化しているまちを創る

## 1. 移住・定住が進むまち創出プログラム

赤磐市に住んでいない人には『住んでみたい』と思われ、赤磐市で生活している市民には『住み続けたい』と思われる、『選ばれるまち赤磐市』の実現を目指します。



### 《平成28年度の主な成果》

#### 「あかいわに帰ろうプロジェクト事業」

⇒ 赤磐市出身者等とのつながりを強化するとともに、進学等で都市圏に住んでいる赤磐市出身者の若者を多方面からサポートするため、特設ホームページ「おかえりあかいわ」を作成し、広く情報発信ができる仕組みづくりを行いました。

#### 「移住・定住を支援する体制の充実事業」

⇒ 赤磐市への移住を検討されている方に赤磐市での生活を体験していただく「おためし住宅」を整備しました。また、移住についての相談や、赤磐市の魅力について情報発信する「移住コンシェルジュ」を設置しました。

### 《平成29年度の主な取組》

#### 「住宅団地等まちづくり活性化対策事業」

⇒ 大規模住宅団地とその周辺を含めた地域を赤磐市の中心的な役割を担う地域として位置づけ、住宅団地は、オールドニュータウン問題を克服し、移住定住の受け皿として魅力を高め、周辺地域では雇用及び賑わい創出の場としての土地利用を行うことにより持続可能なまちづくりを目指していきます。

総合評価

A

## 2. 支えあいを中心とした協働によるまちづくり推進プログラム

だれもが住み慣れた地域で快適に住み続けられるよう、人と人のつながりにより支えあうことのできる地域を創ります。



### 《平成28年度の主な成果》

#### 「協働のまちづくり推進事業」

⇒ 「地域の活性化」と「協働のまちづくり」を進めるため、(市民活動団体5団体)と、赤磐市が協力して地域の様々な課題解決を図る「市民活動実践モデル事業」を行いました。

#### 「旧赤磐市民病院土地・建物を再利用した地域包括ケアシステムの地域拠点づくり」

⇒ 熊山地域の中心である旧赤磐市民病院土地・建物を再利用し、在宅療養を支援する介護・福祉の拠点整備にあたり、公設民営方式で事業運営の実現化に必要な一連の業務を支援しました。



### 《平成29年度の主な取組》

#### 「協働のまちづくり推進事業」

⇒ 協働のまちづくりの推進に向け、人材の発掘及び人材育成を行います。

総合評価

C

## 3. 高齢者が生きがいを持ち元気に暮らせる地域創出プログラム

高齢者が地域の支え手となって活躍できる場を整え、高齢者の生きがいづくりを図ります。



### 《平成28年度の主な成果》

#### 「集いの場の開拓」

⇒ 運動支援ボランティアとともに、「いきいき百歳体操の集い」を新たに33会場(合計44会場)立ち上げ、高齢者の集いの場ができました。また、百歳体操の集いの世話役交流会も開催し、集いの活性化を図るとともに、地域の支えあいの体制作りにつながる取組となりました。

#### 「第2次赤磐市健康増進計画の策定」

⇒ 既存のデータや各種計画との整合性を図り、ライフステージごとに取り組み項目等を検討し第2次赤磐市健康増進計画の策定を行いました。

### 《平成29年度の主な取組》

#### 「買い物支援見守り事業」

⇒ 高齢者等が日常の生活行動範囲の中では買い物をすることが困難な地域が広がっていることから、移動販売車による買い物支援にあわせて独居高齢者の見守り、話し相手、困り事相談等を行います。

総合評価

B